

TOYO とくしま

VOL.27

2021年7月



東洋大学校友会・甫水会・泉会徳島県支部会報



弁天山は、標高6.1mの国土地理院発行の地形図に載る自然の山としては、日本一低い山です。かつては、その周辺が海であり、弁財天を祀った島であったことから弁財島と呼ばれていた。現在は、田園地帯の真ん中にポツンとそびえ、地域のシンボルとして、山開きやライトアップ、登頂証明書の発行など様々なイベントを行っており、多くの方が訪れています。

(写真、説明文とも徳島市提供)



ご挨拶

東洋大学校友会徳島県支部
支部長 高橋 一嘉 (S43経営)

会員の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃は、支部活動に格別のご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

私たちの東洋大学校友会は、2020年10月1日に任意団体から一般社団法人への組織変更をし、母校 愛で集結したボランティア組織となりました。定款には「この法人は、東洋大学建学の精神を顕現し、会員相互の親睦を図り、東洋大学の興隆発展に寄与することを目的とする」として、改組年にあたり、皆様のご理解とご協力のもと、持続可能な発展を遂げる分水嶺の年度と位置づけました。

今回の活性化と改革では、目的に向かい相互の信頼、知徳兼全(建学の精神の一つ、知性と人間力を兼ね備えた人を養成する)の精神を基本として、魅力ある校友ソサエティーの実現を目指します。そして、この実現を「代議員会、理事会の総意として着実に成果を上げるため共に奮闘する」といたしました。

また、校友会ではデジタル化の進展に伴い、会員のメールアドレスの収集を行っており、校友会ジャーナルなど、より多くの情報配信に取り組んでおります。未登録の会員のご登録をお待ちして

おります。(お問い合わせ・お申し込みは、校友会HPまたは☎03-3946-9111へお願いいたします)

一方、徳島県支部の年間行事は昨年来のコロナ禍で多くが中止を余儀なくされました。今年度はコロナ感染症の動向を見据えて、できることから活動を再開しようと支部役員会で話し合い、支部会報誌「TOYOとくしま」を発行することになりました。ご多用中にもかかわらず原稿をお寄せくださいました校友会員に深く感謝いたします。本年も東洋大学連の阿波踊りは中止といたしました。他の行事予定は、支部活動計画表に記載いたしましたが、お正月の風物詩「箱根駅伝」は1月2日に徳島市内の会場で応援を再開し、春の「お花見」は3月下旬から4月初旬に開催予定です。多くの会員のご参加をお待ちいたします。

校友会は会員の年会費・終身会費の納入で運営されております。会勢拡大のため、多くの会員の会費納入をお願いいたします。振替用紙がご入用の校友は、前述の校友会もしくは支部までご連絡ください。20歳代から100歳超まで、男女を問わず楽しく集える情報交換の場、東洋大学校友会徳島県支部を目指しましょう！



「鳴門の渦潮」



「びょうたん島クルーズ」

令和2年度 東洋大学校友会 徳島県支部 収支決算書

自:令和2年4月1日 ~ 至:令和3年3月31日

令和3年度 東洋大学校友会 徳島県支部 収支予算書

自:令和3年4月1日 ~ 至:令和4年3月31日

単位:円

		令和2年度決算		令和3年度予算	
科目		予算額	決算額	予算額	摘要
本部 交付金	年会費交付金収入	40,000	37,000	40,000	40名 @1,000円
	終身会費交付金収入	20,000	19,000	20,000	20名 @1,000円
	支部総会祝金収入	0	0	0	
	周年企画補助収入	0	0	0	
	支部事務費補助収入	20,000	20,000	20,000	
	支部会報発行助成収入	50,000	0	50,000	
	ホームページ助成収入	10,000	10,000	10,000	
	総会特別企画	0	0	0	
	女性参加促進助成収入	0	0	0	
	各種支部企画補助収入	0	0	0	
	雑収入(通信費補助)	0	3,990	0	
	小計①	140,000	89,990	140,000	
支部 内収入	支部総会参加費収入	80,000	0	70,000	
	支部会費収入	0	0	0	
	協賛金	40,000	0	20,000	
	預金利息収入	0	0		
	雑収入	10,000	0	10,000	祝い金
	小計②	130,000	0	100,000	
収入計③=①+②		270,000	89,990	240,000	

【支出の部】

科目		予算額	決算額	予算額	摘要
支部 内経費 支出	支部総会関連費支出	100,000	0	90,000	総会会場費用
	支部会報作成費支出	110,000	0	100,000	
	支部活動費支出	0	0	0	
	地区活動費支出	0	0	0	
	会議費支出	0	0	0	
	通信費支出	20,000	2,436	15,000	
	印刷費支出	0	0	0	
	事務用消耗品費支出	0	0	5,000	
	旅費交通費支出	0	0	0	
	慶弔費支出	20,000	0	10,000	
	渉外費支出	10,000	0	10,000	校友大会バザー(栗尾商店)
	雑支出(銀行諸手数料)	10,000	220	10,000	
	阿波踊り助成金	0	0	0	
予備費支出	0		0		
支出計④		270,000	2,656	240,000	
当期収支差額⑤=③-④		0	87,334	0	
前期繰越収支差額⑥		132,389	132,389	219,723	
次期繰越収支差額⑦=⑤+⑥		132,389	219,723	219,723	

次期繰越収支差額の内訳	現金	0
	普通預金(郵便局)	219,723
	計	219,723

上記のとおりご報告いたします。

令和3年3月31日

支部長 高橋 一嘉 印

会計担当 戸出 敏夫 印

上記決算報告について監査した結果、適正であると認めます。

令和3年4月4日

監査 川田 修 印

監査 山崎 隆 印

『大学での授業の実施方法』

徳島阿波踊り東洋大学連 連長
東洋大学阿波踊り愛好会 顧問
東洋大学理工学部建築学科教授 浦江 真人

東洋大学では、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東洋大学行動指針」を策定し、2021年7月に東京都等に発出された緊急事態宣言により、「202107緊急事態宣言レベル」で対応しています。その内容は、次のとおりです。

- 授業・教育活動＝原則非対面授業、人数を制限しての一部対面授業等の実施可。
- 学生の入構＝入構制限、大学が許可した一部の学生のみ入構可。
- 対面での課外活動＝原則活動禁止、大学が特別に許可した一部の運動部のみ可。
- 事務体制＝出勤者数の制限、業務の一部制限、勤務時間・出勤日の制限。
- 教職員の出張等＝不要不急の出張等は延期、学会等の研究集会への参加及び主催の禁止。
- 会議・本学主催イベント＝会議、打合せ等は、できるだけ対面に代わる方法で実施する。やむを得ず対面で行う場合は短時間・少人数で行う。



写真① 川越キャンパスの4号館前

学生はここを通りスマホのカメラでQRコードを読み取り登校の登録をして検温を受けます。下校する時もQRコードを読み取ります。



写真② 教室の出入口

全ての教室の出入口にアルコール消毒液が置かれています。

川越キャンパスでは、4月7日の第1週から授業の全科目を対面で実施しています。ただし、入構者数管理の観点から、全科目を2分割し、学生は隔日で登校しています。学籍番号の下一桁を奇偶と奇数に分け、奇数学生が入構可能な日は、偶数学生は入構不可になります。

学生は月曜から金曜まで1日置きに登校日が定められ、登校日は対面で授業を受け、非登校日は非対面で授業を受けます。したがって、各曜日の授業は、学生は大学に登校して対面で受講する回とオンラインで受講する回が交互になりますが、教員は毎回対面で授業をしています。なお、最終第15週の7月14日からは東京オリンピックの開催により、全ての授業が非対面でのオンデマンド授業となります。非対面で授業を受ける場合はオンライン会議システムを利用した同時双方向(ライブ)型か課題配信型オンデマンド型になります。大学で契約しているオンライン会議システムとしてCisco Webex Meetingsを主に使用しています。

これらの授業の実施方式はキャンパスによって多少異なり白山キャンパスなどでは全て非対面でおこなっている授業もあるようです。理工学部は、実験や実習の科目が多く、15回の全ての授業を非対面で行うことは難しく、非対面での実験や実習の授業のやり方に苦労しています。

去年に続き今年も阿波踊りに東洋大学連として参加することができませんでした。来年こそ是非参加できるように祈念しています。この便りを読まれた皆様もどうぞご自愛ください。



写真③ 外部特別講師を招いた演習の授業の様子

学生の半分は対面で、半分は非対面(ライブ)で受けています。教室に備え付けのパソコンの画面がスクリーンに映され、リモート会議システムで非対面で出席している学生の名前(または顔)が映されたり、パワーポイントのスライド等や教壇前のカメラによる黒板の板書も画面共有できます。授業で使用する教材はデータで配布します。レポートの課題などは、WORDやPDFのファイルで提出したり、手描きの図面などは写真を撮ったりスキャンしてファイルで提出します。

第2の人生 ～”理論と実践”を活かした奉仕活動～

勝瀬 義仁

70歳で東洋大学を退職し、今年で早5年目を迎えるようとしています。退職後は、50年ほど経ちますが大学勤務以前に創業し、”理論と実践”をテーマに二足のわらじを継承してきた建築設計事務所（アトリエΣ、工房ZERO、現在(株)タックと変遷）で、会長職に就き大好きな都市・建築企画設計を行っています。

大学勤務時代、二足のわらじを継承する者は、日本の行政や大学では倫理規定に反するのではと、冷ややかな目で見られがちでした。しかし欧米の大学や公共では、真の学問や実社会で役立つのは”理論と実践”を行っている人物の経験則が活かされることが重要との考えが主流を占めています。

そして私が、その経験則を活かす契機となったのは、研究や教育分野にフィードバックして都市建築企画の講座開設を行ったこと、更に学会で初の建築企画委員会を発足した委員を務めたこと、そして国や多くの自治体で都市建築委員会などから声がかかり、公職として委員、委員長、会長などを務め、国策の圏央道整備や再開発などで、実務経験を活かした職業奉仕を行ってきました。

特に思い出深いのは、大学在職中に理事長から、”大学に研究者は多くいるが、実務経験者が少ない”との理由から、大学4キャンパス施設整備（約300億円）のタスクリーダーに5年間抜擢され、多様な学部先生方を相手に悪銭苦闘し、何とか職務を果たせたことで、母校に恩返しのできたのではと思っています。

そして退職後は、入会して30年来になる国際ロータリー（RI）の地区活動で地区ガバナー補佐に推挙され、経験則を活かして「職業奉仕と社会貢献」をすべく、奉仕活動に精を出しています。

ロータリーが掲げる主な奉仕活動は、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕などがありますが、これら全ての奉仕活動は、大学在職時に経験してきたことが、少しでもお役に立てばとの思いで日々汗を流させていただいています。



現在のガバナー補佐の自画像

私が大学在職中に、学会や大学において論文発表会や卒論発表会を活かして行った経験を活かして提唱させていただいた”次世代と語る”フォーラムの以前行った光景の一部です。イメージは何も変わっていません。ロータリーでは非常に高い評価を頂いています。よろしく。



東洋大学とともに

東洋大学井上円了哲学センター事務室 酒巻 章司

まず、自己紹介をさせていただきます。阿波市市場町出身、阿波高等学校卒業後、東京に憧れ東洋大学法学部に入学、卒業と同時に1983年東洋大学事務職員となりました。2021年3月に定年退職となるまでの38年間、川越キャンパス、朝霞キャンパス、白山キャンパスにおいて主に教学の部署で勤め、4月からは再雇用で特別嘱託職員として、井上円了哲学センター事務室に勤務しています。

さて、今回縁あって創立者井上円了に係る部署に勤めることとなりましたので、簡単に部署の説明と業務内容、徳島での円了の足跡を紹介させていただきます。

初めに井上円了哲学センターとは、2021年4月設置された新たな部署で、創立者井上円了の建学の精神の一つである『諸学の基礎は哲学にあり』を踏まえ、名称に「哲学」を冠するとともに、円了の理念承継のための教育、研究、社会連携等、円了に係る事業全般を一元的に管理し、調査及び研究、さらに資料収集・保存、自校教育、井上円了記念博物館運営、出版物及び大学史編纂、社会連携、諸行事(①学祖祭・②哲学堂祭)を行うことになっています。①学祖祭は、6月6日の円了の祥月命日に行われる行事で、中野区哲学堂公園の前にある「蓮華寺」(円了墓所)にて法要を行います。②哲学堂祭は、円了の遺志に基づき11月第1土曜日、同じく「蓮華寺」と哲学堂公園で行事を行います。余談ですが、蓮華寺住職の奥様は、モデルでタレントの森泉さんです。

次に、円了の徳島での足跡を井上円了選集から紹介します。円了は、日本各地を巡回していますが、徳島県にも2回の巡講がありました。1回目(1891(明治24)年2月16日～2月20日、3月25日)は、「井上円了選集12巻」館主巡回日記によると「[明治二十四年]二月十六日 晴れ。朝六時、徳島市(現在徳島県徳島市)に着し平亀楼に投ず。午前、桜井知事に面謁し哲学館の旨趣賛成を請う。」の書き出しで始まり川島町、脇町、池田町、撫養町に足跡があります。

2回目(1913(大正2)年2月15日～28日)は、「井上円了選集13巻」南船北馬集第7編によると「二十五日 晴れ。川島駅より船戸に至るの間、高越山麓を一過す。車窓より一望するに、山容大いに趣あり。麻植郡の村名に学島村あり、その字に学村あり、学駅あり、また寺院に童学寺あり、いずれも奇名なり。吉野川の峡間は一見、長野県南信の伊那峡に似たり。」と、それぞれの町についての記述があります。巡講地は、徳島市、小松島町、富岡町、日和佐町、撫養町、石井町、市場町、川島町、脇町、池田町、半田町で、合計25席、演題は、詔勅及び終身、妖怪及び迷信、実業、雑題に関するもので、聴衆は6,550名と記載されています。また、当時円了と対応した方々の氏名等詳しい記載もありますので、興味のある方は文末にあるURLでご覧いただければと思います。私の生まれた町でも円了は講演を開いており、機会があれば町史等を調べてみたいと思っています。さらに、円了は講演先で、揮毫を多く残しているようで、これも興味のあるところ です。

ところで、現在、徳島県出身の学部生在籍者は、23名であり、香川県38名、愛媛県74名、高知県24名に比べても四国で一番少ない数となっています。同様に、2021年度入試の志願者は55名と、これも香川県125名、愛媛県178名、高知県86名に比べても最低数となっています。関西圏が近いため止むを得ないことはと思いますが、先が憂慮される数となっており、何らかの対策が必要な状況です。

末筆となりますが、東洋大学校友会徳島支部の益々の繁栄と新型コロナウイルスの一日も早い収束を祈念いたします。これからも微力ながら徳島を盛り上げるお手伝いが出ればと思っていますので宜しく願いいたします。乱文となりましたがご容赦ください。

参考資料 「井上円了選集 12巻、13巻」

URL:<https://www.toyo.ac.jp/site/enryo/select.html>



井上円了記念博物館



書籍 井上円了



大学白山校舎



古希を迎えて

徳島県松茂町
川 田 修 (S49工学部)

5月13日の誕生日で満70歳になりました。
私の父は52歳、祖父は57歳で他界したので感慨を覚えます。

10年前の還暦は、人生の大きな節目でした。合併した会社の副社長をしていた時、町議会の選挙に立候補したけど、次点で落選し会社を辞めざるを得なくなりました。その失意の時に兼子建設(株)の会長から声がかかり入社した時でした。

それから3年半ほど過ぎたとき、現在勤務している東海コンクリート工業(株)に香川担当常務執行役員の職を山内会長のお誘いで頂きました。山内会長のご理解により、翌年松茂町議選挙に立候補し当選の栄を頂きました。2回目の選挙も当選し、本年5月、正副議長選挙において副議長に選任されました。光栄の至りであります。

香川県の生コン業界は、高松地区では、着任当時惨憺たる状態でした。徳島の6割くらいの値段で販売競争をしていました。山内会長の指示もあ

り、業界正常化に取り組み翌年の平成27年末には共同販売事業が開始できました。

高松地区の共販事業が軌道に乗ってきたので東讃、中讃、西讃の市況も好転し、協同組合連合会で情報交換を理事会で行っていました。

平成30年に私が協同組合連合会の会長に就任した時、理事会で協同組合連合会で共同販売事業をやれないか研究しようということになり、一気に話が進みました。共販準備委員会を立ち上げ月に数回委員会を開催し、平成31年4月1日共販開始にこぎつけました。

現在3年目を迎え、4協同組合のシステム統一、登録販売店制度のスタート等目まぐるしく状況が動いています。

会長に再任されましたので、2年の任期の中で新たな課題(単一の広域協組)に移行することに向かって頑張っていきたいと思います。町議会と生コン業界の生涯現役を目指します。



「鳴門大橋」



「祖谷のかずら橋」



「大川原高原」



「船窪のつつじ」

2020 東洋大学オリンピック

コロナ禍の中での東京オリンピックが開催中です。昨夜は、陸上男子4×100メートルリレーをテレビ観戦していましたが、意外な結末にショックを受けて、そのまま寝てしまいました。桐生選手の呆然とした姿が忘れられません。

今回は、東京五輪、パラ五輪出場の在學生・卒業生の結果(8/7現在)等を見てみたいと思います。

在學生では、

- | | | |
|--------|--------------------|-------|
| ・ 鈴木碧斗 | 陸上男子4×400mリレー4走 | 予選10位 |
| ・ 白井瑠緒 | 競泳女子4×200mフリーリレー2泳 | 予選9位 |
| ・ 酒井夏海 | 競泳女子4×100mフリーリレー3泳 | 予選9位 |

卒業生では、

- | | | |
|---------|--------------------|---------------|
| ・ 服部勇馬 | 陸上男子マラソン | 8/8実施
途中棄権 |
| ・ 桐生祥秀 | 陸上男子4×100mリレー3走 | 予選37位 |
| ・ ウオルシュ | ジュリアン 陸上男子400m | 予選17位 |
| ・ 相沢 晃 | 陸上男子10000m | 予選26位 |
| ・ 津波響樹 | 陸上男子走り幅跳び | 銀メダル |
| ・ 池田尚希 | 陸上男子20km競歩 | 6位入賞 |
| ・ 川野将虎 | 陸上男子50km競歩 | 予選19位 |
| ・ 青木玲緒樹 | 競泳女子100m平泳ぎ | 6位入賞 |
| ・ 萩野公介 | 競泳男子200m個人メドレー | 予選12位 |
| ・ 大橋悠依 | 競泳男子4×200mフリーリレー3泳 | 金メダル |
| | 競泳女子200m個人メドレー | 金メダル |
| | 競泳女子400m個人メドレー | |
| ・ 山口凌河 | パラ 男子ゴールボール | 8/25～ |
| ・ 稲葉 将 | パラ 馬術個人、団体 | 8/27～ |

次に大学別でみると、日本体育大学57人、早稲田大学28人、日本大学26人、筑波大学24人、明治大学18人、東洋大学15人、法政大学14人、近畿大学・中央大学各13人となっています。

さあ、野球が金メダル取ったし、明日のマラソンの服部選手の応援もあるので、これにて。 弥栄
2021年8月7日 (S52 応社 山崎 隆)

事務局通信

■校友会、会費納入のお願い

年会費・終身会費の納入とも毎年減っており、その内、3分の1送金される支部交付金も激減しています。現在、支部活動にも支障をきたしており、大変苦しい状態です。年会費3千円納入促進に積極的なご協力を是非お願い申し上げます。

編集後記

最後に、本号作成に際し原稿をお寄せ頂きました方々、大変お世話になり有難うございました。この場をお借りして御礼申し上げます。(T)

《TOYOとくしま》VOL. 27

発行日 2021年7月20日〈年1刊〉
発行 東洋大学校友会徳島県支部
徳島県名西郡石井町高川原天神246
発行人 高橋 一嘉 tel 088-674-1685
編集長 戸出 敏夫 tel 0883-24-5774
E-mail toyo_toku_07@yahoo.co.jp
編集者 林 茂樹・山崎 隆